

モデル地域用

【「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書】

(モデル地域名 東京都 八王子市地域)

I. 地域の概要 (平成 15 年 4 月現在)

八王子地域 (モデル校数: 小学校 2 校、中学校 2 校、高等学校等 2 校)
八王子市立七国小学校、八王子市立楯原小学校
八王子市立七国中学校、八王子市立四谷小学校
都立第二商業高等学校、 全日課程、学科名 [情報処理科]
都立八王子北高等学校、 全日課程、学科名 [普通科]

II. 平成 15 年度の実践研究の概要

1. 推進地域の研究の見通しを踏まえて定めた、モデル地域としての現状及び研究の計画・見通し等

(1) モデル地域における「総合的な学習の時間」の現状と問題点

- ・第一分科会 (七國小・中、都立第二商業) においては、小・中学校が連携して地域のガイドブックやプレゼンテーションを作成する過程に高校生がパソコンアドバイザーとしてかかわる形の連携を図ってきた。学校ごとに全体計画を作成し、いくつかの観点と評価規準で小・中・高をつなぎ、表現力等を中心に育てたい子ども像の接続・発展を図ったり、教師相互や児童・生徒の交流を図ったりしてきた。問題点としては、都立第二商業高等学校には現在、教育課程上、総合的な学習の時間という位置付けがなく、選択教科で取り扱っている点、また小・中学校との地理的な距離が大きく、移動に費用がかかる点などである。
- ・第二分科会 (楯原小、四谷中、都立八王子北) では、小・中・高 3 校にまたがる浅川の自然について、それぞれの立場から環境学習を進め、その過程で「浅川の青さを取り戻し、「〇〇の場」にしようプロジェクト」を立ち上げ、リーダー会議や共同提案、共同美化活動などを行った。問題点としては、校種による学習のねらいや活動の目的の違いを明確にしつつ、異校種の児童・生徒でグループを構成して、共通体験や調べ学習を進めること、浅川流域の住民や町会等を巻き込み、地域活動へと広げていくこと等である。

(2) モデル事業の実践研究について

- 2 年間を通じた研究の計画・見通し
- ・地域の研究課題としては、地域人材の共有化を中心にして地域全体を巻き込む総合的な学習の時間の実現を図るよう研究を深める。具体的には、地域人材を更に開発することや、地域参画型の授業計画を考えていくことなど、地域に果たす総合的な学習の役割や意義を追究する。(2 年次)
- ・地域人材をリスト化したり、マップ化したりして、その情報を連携校で共有する。(平成 16 年 12 月まで)
- モデル事業としての取組の評価の観点と検証の方法
- (1) 評価の観点
 - ・評価規準 (育てたい力) の校種間の接続・発展
 - ・地域人材の開発と活用
 - ・総合的な学習のねらいの実現
- (2) 評価方法
 - ・各校の全体計画の作成に基づき、育てたい子ども像の接続・発展の在り方を実践を基にして評価する。
 - ・地域人材リストやマップの有効性と活用頻度を評価する。
 - ・単元ごとの総合的な学習のねらいの実現状況を実践を基に評価する。
 - ・児童・生徒、保護者、学校評議委員等から総合的な学習の取り組み等についての評価を受ける。

2. 平成 15 年度の取組概要

- 各学校の総合的な学習の狙いや内容の計画、評価規準等をあらためて整理する意味からフォーマットを決めて「総合的な学習の時間」全体計画を作成した。
- 総合的な学習の時間に関する基本的な考え方や進め方について、講師を招いて講演会を開催し、共通理解を図った。
〔第一分科会〕
- 夏季休業日中から高校生が小学校に出向き、小・中学生対象のパソコン教室を通して交流を深めた。その流れで、単元「プレゼンテーション七国」に入り、適宜高校生からアドバイスを受ける自然な形での交流単元に発展させた。
- 評価規準を通じた接続・発展を意図して「表現力・プレゼンテーション能力」「かかわり」を小・中・高共通の観点とした。
〔第二分科会〕
- 小・中・高3校で共通の人材として、地域在住の環境学習リーダーを活用した。
- 小・中・高3校の児童・生徒が代表者会議を通じて定期的に意見交換や情報交換を行った。
- 小・中・高3校の児童・生徒で個人の課題認識をもとに共同研究や共同環境整備活動を行った。

3. 平成 15 年度の成果及び課題

- (1) 成果
 - ・各学校が自校の総合的な学習の時間を見つめ直し、全体計画の作成に取り組んだ。
 - ・英語の授業を小学校で行うなど、子どもと教師の同時の交流も実施したが、それぞれの校種や教科・領域におけるねらいの不明確さについて指摘を受け、研究の構想から除外した。
 - ・小・中・高が連携した浅川環境整備活動の中での評価規準と活動の整合性を指摘され、それぞれの校種における総合的な学習の時間の展開の中で必然的に交流が生じるよう工夫・改善を図った。
 - ・環境学習リーダーなど地域全体にかかわることのできる人材を開発し、各校で有効に活用した。
 - ・パソコンの指導人材としての活動については、長期休業日なども利用した。
 - ・七国中学校の生徒へのアンケート調査では、総合的な学習の時間が楽しいと答えた生徒が90%、高校生との交流授業が楽しいと答えた生徒は100%であった。(平成15年1月、対象：39名)
- (2) 課題
 - 〔第一分科会〕
 - ・高校生が小・中学校を訪問する形式の交流には制約がある。メール等の情報機器を活用するなど交流方法の工夫を検討していくことが必要だが、かかわりを重視する方向は今後も大切にしたい。
 - ・表現力・プレゼンテーション能力等の小・中・高の確かな接続・発展を図り、それを検証していく。
 - ・地域マップを小・中・高で協力して作成する。
 - 〔第二分科会〕
 - ・異校種間の児童・生徒が共同環境整備活動等をする際の評価規準の系統性や学習支援の在り方を明確にすること(単元の問題解決活動の中に明確に位置付けること)
 - ・小・中・高の児童・生徒が直接交流することの効果や意義、必然性をより一層明確にすること(児童・生徒へのアンケート調査等)

III. 平成 16 年度の実践研究の概要

- 各校の総合的な学習の全体計画を照らし合わせ、共有できる人材や施設等の環境、接続・発展できる評価規準や学習支援等を明確にする。(1学期中)
- 地域人材を中心に、広く地域全体を巻き込んで活動する総合的な学習の時間を実践する。その中で、自然な形で小・中・高の児童・生徒が交流することを実現する。(2学期中)
- 地域の紹介マップ、学校紹介等を小・中・高等学校連携の形でホームページ上に作成する。(3学期中)
- 4月時点と翌年2月時点での児童・生徒、保護者や地域の方々への「総合的な学習の時間」や地域に対する意識の変化をアンケート調査等を通じて明らかにする。(通年)

「総合的な学習の時間」モデル事業 八王子推進地域 15年度取組の概要、16年度の計画

実施時期	取組概要	取組のねらい等 (事業の評価の 観点も含む)
平成15年6月	「総合的な学習の時間」モデル事業推進地域指定	
平成15年6月	○第1回推進地域全体会・分科会 ・研究概要の説明 ・分科会の構成、分科会ごとの地域の現状・課題の分析 ・推進地域としての課題設定・計画策定	・研究のねらい、課題 ・計画等を踏まえ、各学校の「総合的な学習の時間」実施計画の見直しを指示
平成15年7月	○第2回分科会 ・各校の年間指導計画の情報交換 ・今後の研究構想の協議 ・パソコン教室スケジュールの確定	・指導案の形式や評価の観点について指導 ・助言
平成15年8月	・パソコン教室実施(3回) ・2学期実践の打ち合わせ	
平成15年9月	○第3回分科会 ・各実践の指導計画、評価規準等の検討 ○文部科学省担当者訪問(第2回推進地域全体会) ・授業実践 ・モデル事業の趣旨再確認 ・モデル校の取組に対する指導・助言	・指導・助言事項を踏まえ、モデル地域モデル校で評価を実施し、計画を見直し
平成15年10月	・第4回分科会 指導計画の修正 合同のワークシートや保護者への配布資料等打ち合わせ ・第一分科会実践授業「プレゼンテーション七国」「知ろう、伝えよう七国、みなみ野」	・総合的な学習時間のねらいや趣旨の確認
平成15年11月	・第二分科会・児童生徒リーダー会議(3回) ・第二分科会実践「共に踏み出そう、青い地球をより青く」	・年間計画の実施状況について、確認
平成15年12月	○第3回推進地域全体会・第5回分科会 ・各分科会経過報告 ・講演会「総合的な学習の考え方」(講師：寺崎千秋) ・「総合的な学習の時間」全体計画提出	・各学校間の連携の視点から、指導・助言を行う ・総合的な学習の時間の全体計画のフォーマット提示
平成16年1月	○第4回推進地域全体会(全国研究協議会) ・平成16年度の報告書の作成に向けた打ち合わせ	・年度当初に示した成果の視点が含まれているかどうかを確認
平成16年4月	○第5回推進地域全体会 ・平成16年度の研究計画の情報交換 ・意識調査の実施 ・指導案の検討	・意識調査の視点の提示 ・研究の視点の再確認 ・研究年間計画の確認 ・研究構想全体像の確認
平成16年6月	・授業実践 全体計画、評価規準の修正	
平成16年10月	○文部科学省担当者訪問(第6回推進地域全体会) ・授業実践 ・全体計画の修正・確定 ・評価規準の接続・発展の完成	・指導・助言事項を踏まえ、モデル地域モデル校で評価を実施し、計画を見直し
平成16年11月	○第7回推進地域全体会 ・授業公開(全市に公開する研究発表) ・研究成果の普及・啓発(ホームページ等)	・年間計画の実施状況の確認
平成17年2月	○第8回推進地域全体会 ・報告書へのまとめの視点、まとめ方等の確認	・報告書の作成概要提示、指導・助言
平成17年3月	報告書提出	